

【提出書類A】

奨学金振込口座届

課程（○をつける）	研究科	学籍番号	氏 名
修 士 博士後期 専 門 職			フリガナ
銀行名 （銀行コード）	支店名 （支店コード）	□ 座 番 号	
（ ）	（ ）		

- * 上記太線枠内に記入の上、下の部分に通帳のコピーを貼ってください。
- * 冊子の通帳が無い場合はキャッシュカードのコピーでも可。ただし、銀行名・支店名・口座番号・本人カナ氏名の全ての情報が記載されていない場合は「口座番号連絡書」のコピーを貼付してください。
- * 銀行コードおよび支店コードが不明な場合は <http://zengin.aitw.net/> で調べて記入してください（銀行コード例：みずほ 0001、三菱 UFJ 0005、三井住友 0009、りそな 0010、埼玉りそな 0017、ゆうちょ銀行 9900）。

銀行通帳のコピー 糊付け欄

銀行通帳の銀行名・支店名・口座番号・本人カナ氏名が記載されている部分をコピーして、貼付してください。

ゆうちょ銀行の場合、「他金融機関からの振込用の店名・店番・預金種目・口座番号」が掲載されたページを提出してください。

- ・銀行は普通銀行（都銀、地銀、第二地銀）・信用金庫・労働金庫・ゆうちょ銀行に限ります。（ネット銀行、外資系銀行、信託銀行、JA等は不可）
- ・口座は本人名義の普通預金口座（総合口座を含む）に限ります。（貯蓄預金口座、当座預金口座は不可）
- ・出願時まで銀行の統廃合等があった場合は、銀行からの通知等で確認するか、直接銀行へ問い合わせ確認し、正しい（新しい）銀行名・支店名・支店番号・口座番号を通帳のコピーに記入の上、貼り付けてください。

【提出書類B】

本人および配偶者の最新の「所得証明書」または
「非課税証明書」添付用紙

課程（○をつける）	研究科	学籍番号	氏 名
修 士			フリガナ
博士後期			
専 門 職			

上記枠内に記入の上、下線部以下に提出書類を貼ってください。

↓ この線より下の部分に糊付けしてください（折り曲げ可）。

本人および配偶者、両方の最新の所得証明書類を添付

- ※ 市区町村役場で発行している最新の「所得証明書」、「（非）課税証明書」または「地方税交付通知書」を貼付してください。
- ※ 収入の有無に関わらず、全員が提出してください。
- ※ 配偶者がいる方は、配偶者分も提出のこと（配偶者分は本人分の下に重ねて貼付してください）。
- ※ 申請時点で発行される最新の収入・所得内容が記載されているものを提出してください（収入がない場合は、「非課税証明書」を提出することにより、収入がないことの証明になります）。
- ※ 以下の書類は不可です。

×	※「納税証明書」や「市民税・県民税特別徴収税額の通知書」は不可です。 ※収入・所得金額等が「****」（アスタリスク）で隠されているもの、金額の記載のないものは不可です。（0円でも、証明書に所得金額等の記載が必要となりますので、役所で発行してもらうとき申し出て確認してください。）
---	--

【提出書類D】 2022年（1月～12月）の収入実績申告書

私の2022年の収入実績は以下のとおりで相違ありません。

添付書類： 合計 点 を本用紙に添えて提出します。

日本学生支援機構奨学金申請者のみ
父母からの給付がある場合、父母等の氏名自署が必要です。

給付者（父・母・ ）氏名【自署】： _____
給付者に〇、父母以外は横線を記入
父母等からの給付書について、申請者本人の捺印欄については、以下のとおりであることを相違ありません。

学籍番号： _____

申請者氏名【自署】： _____

収入区分	定 職	アルバイト	父母からの給付	奨学金		その他 (預貯金の取崩し等)		配偶者の有無： 有 ・ 無	
				合計	万円	合計	万円	配偶者の定職： 有 ・ 無 (有の場合、下記へ記入)	配偶者収入の合計
2022年中の収入額 (1万円未満の給付)	合計	万円	(a～dの合計) 合計	万円	合計	万円	合計	配偶者氏名：	
内 容	職 業：	勤務先① 名称： 勤務先② 名称：	a. 日常生活費(食費・住居費等)： () 万円/年額 b. 学費： () 万円/年額 c. 通学費(定期代等)： () 万円/年額 d. 小遣い・その他 () 万円/年額	日本学生支援機構 () 万円/年額 (内訳) 月額 _____ 円×() か月分 * 内容を確認できる書類を添付すること (2023年1月～3月に学部で受けていた機構奨学金分は不要)	預貯金取崩し () 万円/年額 年金 () 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	その他の奨学金① 名称： () 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	その他の奨学金② 名称： () 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	雇用保険 () 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	配偶者氏名： 職 業： 勤務先： 添付書類： (いずれかを添付。コピー可) 源泉徴収票(2022年分) 確定申告書控え(2022年分) その他()
	添付書類： (いずれかを添付。コピー可) 源泉徴収票(2022年分) 確定申告書控え(2022年分) その他()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()	信憑書類 源泉徴収票 ・ 確定申告書控え 給与明細 (年 月～ 月) その他 ()
	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：
	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：
	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：	特記事項：

【注意事項】
裏面の記入例をよく読み、太枠内にもれなく記入すること。
収入区分の「アルバイト」「その他」で内容が複数ある場合はすべてそのまま合計し、合計額の1万円未満は切り捨てて記入すること。
アルバイト先が3カ所以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた總合計とすること。
添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

＜事務使用欄＞

【提出書類D】 2022年（1月～12月）の収入実績申告書

記入見本

日本学生支援機構奨学金申請者
父母からの給付がある場合、父
母等からの給付額については、以下のとおり記入してください。

給付者（父・母・）氏名【自署】： 法政 大

私の2022年の収入実績は以下のとおりで相違ありません。

添付書類： 合計 2 点 を本用紙に添えて提出します。

学籍番号： 23P9999

申請者氏名【自署】： 法政 富士子

収入区分	定 職	アルバイト	父母からの給付	奨学金	その他 (預貯金の取崩し等)	配偶者の有無： 有 ・ 無 配偶者の定職： 有 ・ 無 (有の場合、下記へ記入)
2022年中の 収入額 (1万円未満は四捨五入)	合計 0 万円	合計 88 万円	(a～dの合計) 合計 254 万円	合計 60 万円	合計 0 万円	配偶者収入の合計 万円
内 容	申請者本人に 定職があった場合はこの 欄に記入し、書類を添付	勤務先① 名称： ΔΔ学習塾 (60) 万円/年額 信憑書類 ・源泉徴収票 ・確定申告書控え ・給与明細 (年 月～ 月) ・その他 ()	a. 日常生活費 (食費・住居費等) : (90) 万円/年額 (内訳) 月額 50,000 円× (12) か月分 * 内容を確認できる書類を添付すること (2023年1月～3月に学部で受けて いた機構奨学金分は不要)	日本学生支援機構 (60) 万円/年額 (内訳) 月額 50,000 円× (12) か月分 * 内容を確認できる書類を添付すること (2023年1月～3月に学部で受けて いた機構奨学金分は不要)	預貯金取崩し (0) 万円/年額 添付書類2 年金 (0) 万円/年額	配偶者氏名： 職 業： 配偶者がいて、その方 が定職を持っている場 合はこの欄に記入
	添付書類： (いずれかを添付。コピー可) ア 源泉徴収票 (2022年分) イ 確定申告書控え (2022年分) ウ その他 添付書類1	勤務先② 名称： 家庭教師 2022年10月で終了 (28) 万円/年額 信憑書類 ・源泉徴収票 ・確定申告書控え ・給与明細 (年 月～ 月) その他 (白紙5,000円×3冊1冊×4冊×12か月)	参考：2022年度の法政学費＞ 法政大学国際文化学部 138万円 法政大学他文系学部 107万円 法政大学理工系学部 158万円 (※応用植物科学科 164万円) 大学院理系 修士課程 97万円 (※植物医科学 103万円) 博士後期課程 80万円 (※植物医科学 86万円) * 上記以外は各自で調べる	その他の奨学金① 名称： () 万円/年額	雇用保険 (0) 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	添付書類： (いずれかを添付。コピー可) ア 源泉徴収票 (2022年分) イ 確定申告書控え (2022年分) ウ その他 ()
	特記事項： 信憑書類がないので、 申告内容の算出根拠を記入	勤務先③ 名称： () 万円/年額 信憑書類 ・源泉徴収票 ・確定申告書控え ・給与明細 (年 月～ 月) ・その他 ()	c. 通学費 (定期代等) : () 万円/年額 d. 小遣い・その他 (6) 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	その他の奨学金② 名称： () 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	その他 () 万円/年額 * 内容を確認できる書類を添付すること	特記事項：

【注意事項】
裏面の記入例をよく読み、太枠内にもれなく記入すること。
収入区分の「アルバイト」～「その他」で内容が重複する場合はすべてそのまま合計し、合計額の1万円未満は切り捨てて記入すること。
アルバイト先が三力以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。
添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

＜事務使用欄＞

2023年の収入見込みが2022年と変動が「ある・ない」※必ずどちらかに○を付けてください。

※定職があったが退職した、父母からの給付金が増減したなど収入に「変動がある」方は下表に記入してください。

「変動がない」に○を付けた方は、学籍番号・氏名のみ記入してください。

【提出書類E】 2023年（1月～12月）の収入見込み申告書

私の2023年の収入見込みは以下のとおりで相違ありません。

添付書類： 合計 点 を本用紙に添えて提出します。

申請者氏名【自署】：

学籍番号：

日本学生支援機構奨学金申請者のみ
父母からの給付がある場合、父母等の氏名自署が必要です。

給付者（父・母・）氏名【自署】：
※給付者に○、父母の印は捺印を記入
父母等からの給付額について、申請者本人への給付額については、以下のとおりであることを前記ありませぬ。

収入区分	定職	アルバイト (2023年3月までに退職したものは除く)	父母からの給付	奨学金 2023年3月までに終了のもの・申請予定・申請中のものは除く	その他 (預貯金の取崩し等)	配偶者の有無： 配偶者の定職： (有の場合、下記へ記入)	
2023年中の収入見込み額 (1万円未満の捨て)	合計 万円	合計 万円	(a～dの合計) 万円	合計 万円	合計 万円	配偶者収入の合計 万円	
職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 源泉徴収票 (2022年分) イ 確定申告書控 (2022年分) 理由： 内 容 ウ 2022年より減額見込 理由： ウ 2022年より減額見込 理由：	職業： 勤務先① 名称： () 万円/年額 年収算出基礎： () 万円/年額	a. 日常生活費 (食費・住居費等)： () 万円/年額 (内訳) 月額 × () か月分 b. 学費： () 万円/年額 *大学院学費は大学院ウェブサイトに掲載されています	合計 万円	日本学生支援機構 () 万円/年額 (内訳) 月額 × () か月分 *内容を確認できる書類を添付すること	預貯金取崩し () 万円/年額 配偶者名： 職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 2022年と同等見込 イ 2022年より増額見込 理由： 雇用保険 () 万円/年額 理由： ウ 2022年より減額見込 理由：	配偶者の有無： 配偶者の定職： (有の場合、下記へ記入)	
	勤務先② 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： () 万円/年額	*大学院学費は大学院ウェブサイトに掲載されています		その他の奨学金① 名称： () 万円/年額	その他の奨学金② 名称： () 万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	年金 () 万円/年額 理由： 雇用保険 () 万円/年額 理由： ウ 2022年より減額見込 理由：	配偶者の有無： 配偶者の定職： (有の場合、下記へ記入)
	勤務先③ 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： () 万円/年額		その他の奨学金② 名称： () 万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること		その他 () () 万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	配偶者の有無： 配偶者の定職： (有の場合、下記へ記入)	
	*今後退職予定の場合は、離職予定日を記入 () 年 月 日(離職予定)		その他の奨学金② 名称： () 万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること		その他 () () 万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	配偶者の有無： 配偶者の定職： (有の場合、下記へ記入)	
	*転職の場合はその日付を記入し、新勤務先の給与明細を添付。 () 年 月 日(転職)		その他の奨学金② 名称： () 万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること		その他 () () 万円/年額 *内容を確認できる書類を添付すること	配偶者の有無： 配偶者の定職： (有の場合、下記へ記入)	

【注意事項】
裏面の記入例をよく読み、本枠内にちれなく記入すること。
収入区分の「アルバイト」～「その他」で内容が複数ある場合はすべてそのまま合計し、合計額の1万円未満は切り捨てて記入すること。
アルバイト先が3カ所以上ある場合など、書ききれない場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。
添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

※「書類使用欄」

2023年の収入見込みが2022年と変動が

※定職があったが退職した、父母からの給付金が大幅に増減したなど収入に「変動がある」方は下表に記入し「変動がない」に○を付けた方は、学籍番号・氏名のみ記入してください。

※必ずどちらかが

記入見本

【提出書類E】 2023年（1月～12月）の収入見込み申告書

私の2023年の収入見込みは以下のとおりで相違ありません。

添付書類： 合計 0 点 を本用紙に添えて提出します。

この例では、2023年2月まで家庭教師をしていたがそれは含まない

学部時代のものなど2023年3月までに終了したものや、今回申請するものは含まない

収入区分	定職	アルバイト (2023年3月までに退職したものは除く)	父母からの給付 (a～dの合計)	奨学金 (2023年3月までに終了したもの・申請予定・申請中のものは除く)	その他 (預貯金の取崩し等)	配偶者の有無： 配偶者の定職： (有の場合、下記へ記入)
2023年中の収入見込み分額 (1万円未満の切捨て)	合計 0 万円	合計 48 万円	合計 173 万円	合計 0 万円	合計 60 万円	配偶者の収入の合計 万円
内 容	職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 雇用契約書など、内容の確認ができる書類があれば添付する	勤務先① 名称： ΔΔ学習塾 (30) 万円/年額 年収算出基礎： 2022年は週2日勤務だったが、2023年は週1日になるので半減見込	勤務先② 名称： 法政大学TA 収入 (18) 万円/年額 年収算出基礎： 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	その他の奨学金① 名称： () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	預貯金取崩し (60) 万円/年額 年金 () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	配偶者名： 職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 2022年と同等見込 イ 2022年より増額見込 理由： ウ 2022年より減額見込 理由： ※すでに離職している場合は退職証明を添付
	職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 雇用契約書など、内容の確認ができる書類があれば添付する	勤務先③ 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	勤務先④ 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	その他の奨学金② 名称： () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	雇用保険 () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	配偶者名： 職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 2022年と同等見込 イ 2022年より増額見込 理由： ウ 2022年より減額見込 理由： ※すでに離職している場合は退職証明を添付
	職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 雇用契約書など、内容の確認ができる書類があれば添付する	勤務先⑤ 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	勤務先⑥ 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	その他の奨学金③ 名称： () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	雇用保険 () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	配偶者名： 職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 2022年と同等見込 イ 2022年より増額見込 理由： ウ 2022年より減額見込 理由： ※すでに離職している場合は退職証明を添付
	職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 雇用契約書など、内容の確認ができる書類があれば添付する	勤務先⑦ 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	勤務先⑧ 名称： 収入 () 万円/年額 年収算出基礎： 1コマ4,200円×3コマ×週1日×15週	その他の奨学金④ 名称： () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	雇用保険 () 万円/年額 ※内容を確認できる書類を添付すること	配偶者名： 職業： 勤務先： 年収算出基礎 (いずれかに○)： ア 2022年と同等見込 イ 2022年より増額見込 理由： ウ 2022年より減額見込 理由： ※すでに離職している場合は退職証明を添付

【注意事項】

裏面の記入例をよく読み、太枠内にちりなく記入すること。
収入区分の「アルバイト」～「その他」で内容が重複ある場合はすべてそのまま合計し、合計額の1万円未満は切り捨てて記入すること。
アルバイト先が三カ所以上ある場合は別紙に同内容を記入し、添付すること。その際は合計欄は別紙記入分も含めた総合計とすること。
添付書類は本用紙の左上にそろえてホチキス留めすること。

《事務使用欄》

【提出書類 H】 ※日本学生支援機構奨学金（貸与）申込用 指導教員推薦所見（大学院）

2023 年 月 日

課 程 (○をつける)	研 究 科	専 攻	学 年	学 籍 (学生証) 番 号
修士 博士後期 専門職				
フリガナ				連 絡 先 (携帯電話番号)
氏 名				

◎申請者は日付と太枠線内をすべて記入してから指導教員に署名及び学力基準の確認等を依頼してください。

◎併用貸与（申込区分 4～7）の場合は 2 通提出してください（コピー可）

※指導教員（または専攻主任） 氏名：

（自署）

日本学生支援機構奨学金では、第一種奨学金（無利子）・第二種奨学金（有利子）・併用貸与の学業基準がそれぞれ以下のように設定されています。当該学生について、指導教員の所見として当てはまる場合はチェック（☑）を入れてください。

＜申請する課程が修士課程または専門職学位課程の場合＞

相当する奨学金種別	学 力 基 準	基準に合う場合☑
第一種 または 併 用 貸 与 相 当	大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができるものと認められる。	☐
第二種 相 当	①又は②のいずれかに該当する。 ① 大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができるものと認められる。 ② 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる。	☐

＜申請する課程が博士後期課程の場合＞

相当する奨学金種別	学 力 基 準	基準に合う場合☑
第一種 または 併 用 貸 与 相 当	大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができるものと認められる。	☐
第二種 相 当	①又は②のいずれかに該当する。 ① 大学・大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動することができるものと認められる。 ② 大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる。	☐

＜申請者が定職または週 21 時間以上のアルバイトに従事する場合＞

内 容	確認チェック
第一種・第二種 申請者は定職（または週 21 時間以上のアルバイト）に就いているが、そのために研究に支障をきたすことはないものと認められる。	☐

本書にご記入いただいた情報は奨学金推薦業務のために利用され、それ以外の目的には利用されません。

【提出書類 I】

法政大学 100 周年記念大学院修士課程・法政大学大学院専門職学位課程・
法政大学 100 周年記念大学院専門職学位課程奨学金申請書

提出日：2023 年 月 日

I. 出願者

課 程 (○をつける)	研 究 科	専 攻	学年	学籍番号
修士・博士後期・専門職				
氏 名 (フリガナ)	生年月日	連絡先		
	年 月 日生	自宅 TEL : 携帯 TEL :		

II. 収入状況 *【提出書類 D】および【提出書類 E】に記載した各収入区分の合計額を記入してください

収入区分	収入金額 (年額・税込・各収入区分 1 万円未満切捨て)	
	2022 年 (実績)	2023 年 (見込み)
定職	万円	万円
アルバイト	万円	万円
父母からの給付	万円	万円
奨学金	万円	万円
その他	万円	万円
配偶者の定職	万円	万円
合 計	万円	万円

基本的に前年の収入のみを記入してください。定職についていた方が退職した場合 (またはその逆) や父母からの給付額が大きく変動する場合など、収入に大きな変動がある方のみ本年見込の収入金額を記入してください。 (【提出書類 E】で変動が“ない”に○をつけた方は 2022 年 (実績) 欄のみ記入してください。)

III. 履歴 *大学卒業後または大学院修了後の履歴 (学歴・職歴・自己研修・家事従事等を含む) をすべて西暦で記入 (* は○をつける) してください

年 月	() 卒業
年 月 ~ 年 月	() 大学院 (* 修士・博士後期・専門職) 課程修了
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
20 年 月	法政大学大学院 (* 修士・博士後期・専門職) 課程入学 現在にいたる

IV. 家庭事情 *奨学金を希望する家庭事情や、その他特に説明を要することを具体的に記入してください

V. 誓約欄

- (1) 本奨学金申請書の記載事項に相違ないことを誓約いたします。
- (2) 採用後、休学・退学・除籍等により採用取消になった場合には、大学からの指示により採用年度内に奨学金の全額または一部を返還することを誓約いたします。

本人 (氏名は自署)	現住所	
	氏 名 (自署)	

この書類に記入された個人情報は、本奨学金選考にのみ使用します。

【提出書類Ⅰ】

記入見本

法政大学 100 周年記念大学院修士課程・法政大学大学院専門職学位課程・
法政大学 100 周年記念大学院専門職学位課程奨学金申請書

提出日：2023 年 4 月 14 日

I. 出願者

課 程 (○をつける)	研 究 科	専 攻	学 年	学籍番号
修士・博士後期・専門職	人文科学	哲学	1	23P9999
氏 名 (フリガナ)	生年月日	連絡先		
木村 大志 法政 富士子	2000 年 4 月 10 日生	自宅 TEL：03-3264-9488 携帯 TEL：000-1111-2222		

II. 収入状況 *【提出書類 D】および【提出書類 E】に記載した各収入区分の合計額を記入してください

収入区分	収入金額 (年額・税込・各収入区分 1 万円未満切捨て)	
	2022 年 (実績)	2023 年 (見込み)
定職	0 万円	0
アルバイト	88 万円	48
父母からの給付	254 万円	173 万円
奨学金	60 万円	0 万円
その他	0 万円	60 万円
配偶者の定職	0 万円	0 万円
合 計	402 万円	281 万円

【提出書類 D】および
【提出書類 E】と同じ
数字を記入してくだ
さい！

基本的に前年の収入のみを記入してください。定職についていた方が退職した場合 (またはその逆) や父母からの給付額が大きく変動する場合など、収入に大きな変動がある方のみ本年見込の収入金額を記入してください。 (【提出書類 E】で変動が“ない”に○をつけた方は 2022 年 (実績) 欄のみ記入してください。)

III. 履歴 *大学卒業後または大学院修了後の履歴 (学歴・職歴・自己研修・家事従事等を含む) をすべて西暦で記入 (* は○をつける) してください

2023 年 3 月	(法 政 大 学) 卒業
	() 大学院 (※ 修士・博士後期・専門職) 課程修了
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
20 23 年 4 月	法政大学大学院 (※ 修士・博士後期・専門職) 課程入学 現在にいたる

IV. 家庭事情 *奨学金を希望する家庭事情や、その他特に説明を要することを具体的に記入してください

必ず記入してください！	
-------------	--

V. 誓約欄

(1) 本奨学金申請書の記載事項に相違ないことを誓約いたします。

(2) 採用後、休学・退学・除籍等により採用取消になった場合には、大学からの指示により採用年度内に奨学金の全額または一部を返還することを誓約いたします。

本人 (氏名は自署)	現住所	
	氏 名 (自署)	氏名は申請者が自署

この書類に記入された個人情報、本奨学金選考にのみ使用します。

【提出書類J】

研究計画書・指導教員推薦書

課程（○をつける）	研究科	専攻	学年	学籍番号	氏名
修士 博士後期 専門職					

研究計画欄

研究題目（研究分野）（50字程度にまとめてください）

あなたの大学院進学の目的と研究計画を記入してください。（400字程度にまとめてください）

指導教員（または専攻主任）推薦欄

上記の学生は、学業成績・人物ともに、法政大学給付奨学生としてふさわしい者として推薦いたします。

推薦日： 2023 年 月 日

指導教員（または専攻主任）氏名【自署】 _____

【先生方へ】 ご署名後の本書は、原本（紙）またはPDF等のデータファイルにより学生本人へお渡しくださるようお願いいたします。